

令和元年 7 月 8 日

関東経済産業局と中小企業基盤整備機構関東本部が連携を強化します ～オープンイノベーションを通じた企業間連携を促進～

関東経済産業局（以下、「当局」という。）と中小企業基盤整備機構関東本部（以下、「中小機構関東本部」という。）は、オープンイノベーションを通じて、従来の枠組みを超えた企業間連携を創出し、多くの企業が「新たな付加価値の創出」による「稼ぐ力」の向上を実現するため、連携を強化します。

1. 背景・経緯

デジタル技術の発展により世界各地における「モノ作り能力」の均一化が進む中、企業の「稼ぐ力」の維持・向上を図るためには、サービスを含めた新たな価値創造が求められています。

このため、当局では、企業内のリソースに限定されないオープンイノベーションを通じた企業間連携を促進すべく、企業や大学、支援機関等の参画を得て、ビジネスマッチングや交流会の機会提供を進めてきました。

また、中小機構関東本部では、国内の中小企業と大企業、海外企業をつなぐ、WEB 活用のビジネスマッチングサイト「ジェグテック」により、データマッチングのノウハウを蓄積させるとともに、専門コーディネーターによるマッチングサポートや、販路開拓・事業化支援を実施してきました。

こうした両組織の取組について、より一層効果的に推進していくため、両組織が持つネットワークや支援策を掛け合わせて、多様な企業間連携を創出する支援体制を構築していくことを目的に、連携強化を図ることとしました。

2. 具体的な取組

- (1) リアルと WEB を組み合わせた効果的なオープンイノベーションの実現
当局が主催する対面でのマッチングの場（「オープンイノベーション・チャレンジピッチ」等）で企業が発信した開発ニーズについて「ジェグテック」に掲載し、パートナー探索を後押しするなど、リアルと WEB を組み合わせた効果的なマッチングをサポートします。
- (2) 「KO-LABO」、「オープンイノベーション・マッチングスクエア」の新設
当局 HP 内にオープンイノベーションに関連するマッチングイベントや支援施策を集約したワンストップページ「KO-LABO (Kanto Open-innovation LABO)」を設置します。併せて「ジェグテック」内に、中堅・中小企業や大手企業の開発ニーズ等を一元的に掲載し、いつでもパートナー探索が可能な特設ページ「オープンイノベーション・マッチングスクエア」を新設します。

(3) 個別案件に対する伴走型支援の充実

(1)(2)の取組を通じて連携の可能性が生じた案件について、当局及び中小機構関東本部が個別に進捗の把握・共有を行うとともに、企業のニーズに応じて契約・知的財産の専門家の紹介や両組織の施策情報の提供を行うなど、企業間の対話や取引が円滑に行われるよう伴走型支援の充実を図ります。

(4) 地域での取組活性化に向けたオープンイノベーションのネットワーク拡充

「ジェグテック」を活用し、中小機構関東本部が有する地域中小企業支援機関・金融機関等とのネットワークと当局が有する自治体、地域クラスター・産業支援機関・大学・研究機関等とのネットワークを掛け合わせて、オープンイノベーション参画組織の拡充、支援人材の育成、地域での取組の活性化を図ります。

3. 関連情報

- ・企業間連携に関するワンストップページ「K0-LAB0」について

<https://www.kanto.meti.go.jp/kolabo/index.html>

- ・「オープンイノベーション・マッチングスクエア」について（ジェグテックのサイトへ）

<https://jgoodtech2.smrj.go.jp/lp/oi-matchingsquare>

- ・オープンイノベーション・チャレンジピッチについて

https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/open_innovation/challenge_pitch_2019.html

(本発表資料のお問合せ先)

関東経済産業局 地域経済部

産業技術革新課長 門田 靖

担当者: 渡邊、荻谷、高崎

電話: 048-600-0237(直通)

FAX: 048-601-1287

E-MAIL: kanto-oi@meti.go.jp

独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部

連携支援部 連携支援課長 林 崇郎

担当者: 打田

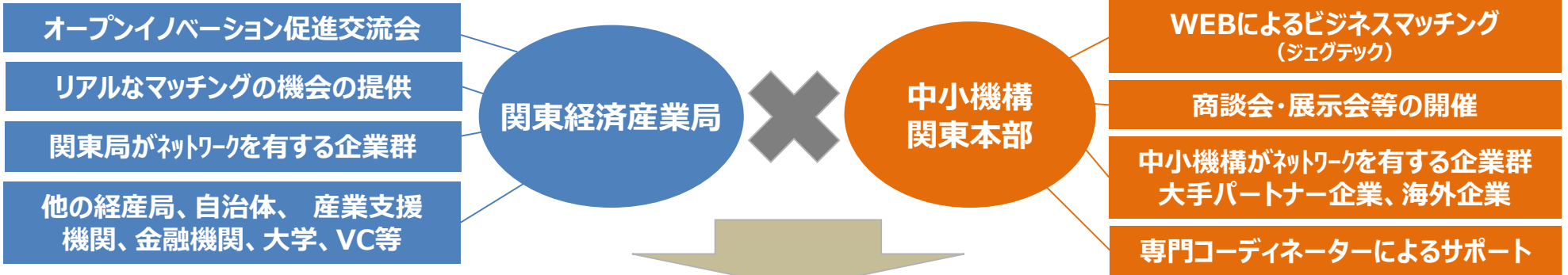
電話: 03-5470-1638(直通)

FAX: 03-5470-1573

E-MAIL: kanto-hanro@smrj.go.jp

関東経済産業局と中小機構関東本部の連携強化

- 関東経済産業局と中小企業基盤整備機構関東本部は、オープンイノベーションを通じて、従来の枠組みを超えた企業間連携を創出し、多様な企業が「新たな付加価値の創出」による「稼ぐ力」の向上を実現するため連携を強化。
- 両組織が有するネットワークや支援策を集約し、自治体、産業支援機関、金融機関、大学、ベンチャーキャピタル等のサポーター組織の参画を得ながら、多様な企業間連携を創出していく支援環境の充実化を図る。



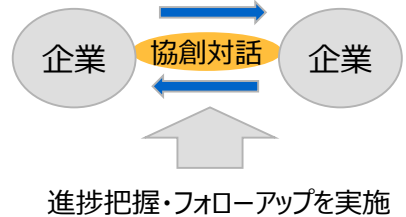
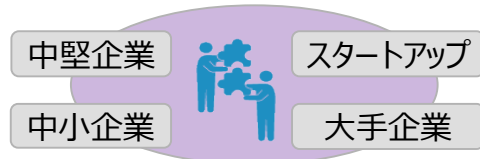
- 1 「リアル×WEB」によるオープンイノベーションの実現
- 2 「KO-LABO」、「オープンイノベーション・マッチングスクエア」の新設
- 3 個別連携案件に対する伴走型支援の充実化
- 4 地域での取組活性化に向けたネットワーク拡充

オープンイノベーションを通じた企業間連携マッチングについて、関東局が有するリアルな場と、中小機構関東本部が有するWEBツールをかけ合わせることで、効率的・効果的なマッチングをサポート。

当局HP内に「KO-LABO」を立上げ、「ジエグテック」内に、外部連携に意欲的な中堅・中小や大手の開発ニーズを一元的に掲載し、リアルタイムにパートナー探索可能なコンテンツを新設。

個別連携案件について、進捗の把握・共有やフォローアップを行い、伴走型支援の充実化を図る。

両組織が有するネットワークを、「ジエグテック」でつなぎ合わせることで、参画組織の拡充、支援人材育成、地域での取り組みの活性化を図る。



- 自治体 (Local Government)
- 金融機関 (Financial Institutions)
- ベンチャーキャピタル (Venture Capital)
- 支援機関 (Support Organizations)
- 大学 (Universities)
- 専門家 (Experts)